定期情報開示

2026年2月27日

項目		内容
(1) 発行者の情報		
	イ）発行者の名称、所在地及び登録番号	発行者の名称：株式会社フィナンシェ 所在地：東京都渋谷区桜丘町26-1 セルリアンタワー15F 会社法人等番号：0110-01-126276
	ロ）発行者の沿革	株式会社フィナンシェは田中 隆一氏、前田 英樹氏、西出 飛鳥氏に よって2019年1月に共同創業され、同年3月よりスポーツチームやクリエイター等を応援するWeb3時代のトークンプラットフォームである「 FiNANCiE（フィナンシェ）」の運営を開始しました。現在は株式会社gumiの創業者である國光宏尚氏が代表取締役CEOを務めています。
	ハ）発行者及びその関係会社が営む主な事業の概要	発行者：株式会社フィナンシェ 事業の概要：「Empowering the next billion dreams」をビジョンとし、Web3時代のトークンプラットフォーム「FiNANCiE（フィナンシェ）」を運営しています。同サービスでは、プロジェクトオーナーがCTと呼ばれる独自のデジタルアイテムを発行し、支援者はCTを購入することでオー ナーのコミュニティに参加することができます。CTは専用のマーケットで二次流通が可能なうえ、保有量に応じてさまざまな特典を受けることができます。 その他、NFT事業、IEO支援事業などトークンを活用したコミュニティおよびエコシステムの形成を支援する事業についても展開しています。
	ニ）発行者の役員の氏名及び経歴	● 代表取締役CEO 國光 宏尚 2004年、カリフォルニアのサンタモニカカレッジを卒業後、株式会社アットムービーへ入社し、同年取締役に就任。 映画やドラマのプロデュースを手掛ける一方で、様々なインターネット関係の新規事業を立ち上げる。2007年、株式会社gumiを創業し、代表取締役に就任。 2015年、VR/AR関連のスタートアップを支援する100％子会社Tokyo VR Startups株式会社を設立し、代表取締役に就任。2016年、主に北米のVR/AR企業への投資を目的としたVR FUND,L.P.のジェネラルパートナーとして運営に参画、 また韓国にてSeoul XR Startups Co., Ltd.を設立し取締役に就任。 2017年、北欧地域のVR/AR関連スタートアップを支援するNordic VR Startups Oy.を設立し、代表取締役に就任。 2018年、gumi Cryptos匿名組合を組成し、仮想通貨・ブロックチェーン事業に参入。2021年8月より株式会社フィナンシェ代表取締役CEO、並びに、株式会社Thirdverse代表取締役CEOに就任。

		● 取締役CSO田中 隆一 慶應義塾大学理工学部情報工学科卒。2000年にデロイトトーマツ・コンサルティングに新卒入社。2002年DeNA入社。広告企画やソリューション事業など新規事業の立ち上げを経験する。2005年ノッキングオンに参画。モバイルアフィリエイト事業の立ちあげ、位置情報を利用したソーシャルゲームの企画・運営を経て、2008年から代表取締役を務めた。2010年株式会社Zynga Japanのビジネス・ディベロップメントチームに所属。2012年にUnicon Pte. Ltd.を創業。2019年株式会社フィナンシェを共同創業、代表取締役CEOを経て取締役CSO（現任）。 ● 取締役CTO 西出 飛鳥 大学在籍中にIPA未踏ソフトウェアプロジェクトに採択されたPC用ウェブブラウザ「Lunascape」の開発メンバーとして参画。同プロジェクトはスーパークリエイター認定を受ける事となる。翌年、製品と同名の株式会社を共同創業し、CTOに就任。以降、退社までの約7年間にわたりコンシューマー向けクライアントアプリケーションの開発を自らが中心となって行う。株式会社アマテラルにてソーシャルゲームの開発、運営を経験。2012年、株式会社ユニコンの前身となる株式会社ウォルラスデザインを共同創業し、CTOに就任。2019年株式会社フィナンシェを共同創業、代表取締役CTO（現任）。 ● 取締役VPoE 戸田 敦 株式会社ネオジャパンでグループウェアの開発経験を経て、2011年に株式会社モブキャストに入社。ソーシャルプラットフォームの新規事業開発に携わる。その後、ネイティブアプリシフトにあわせて共通基盤開発やプラットフォーム運用開発チームの部長を務める。2018年株式会社gumiにて、新規事業のFiNANCiEの開発に初期メンバーとして参画。2019年に株式会社フィナンシェが設立された後、2020年に入社し執行役員VPoEとして開発に従事。2024年4月に取締役就任。 ● 社外取締役 馬場 渉 2001年SAPジャパン株式会社に入社し、2014年同社チーフイノベーションオフィサーに就任。2016年、公益社団法人プロサッカーリーグ特任理事、SAP Labs LLC副社長に就任。2017年パナソニックホールディングス株式会社に入社し、2019年同社執行役員に就任。2020年、公益社団法人日本プロサッカーリーグ理事に就任。2022年4月、パナソニックホールディングス株式会社サスティナビリティ担当となる。同年12月、株式会社フィナンシェ社外取締役に就任。

	ホ）発行者の業績の概要	Web3時代のトークンプラットフォーム「FiNANCiE」の運用、NFT事業及びIEO支援事業を推進しております。2025年11月期の月次累計（2025年11月30日時点）の売上高は1,500,011千円、経常損失は486,609千円、当期純損失は618,350千円となりました。今後FiNANCiE上でのプロジェクトや利用者数の増加、活性化、FNCTのユーティリティの強化などの施策を随時行っていく予定です。
	へ）発行者の財務の状況	2025年11月期の貸借対照表及び損益計算書は以下のとおりです。なお、IEO（付随取引含む）の会計処理は暫定処理であり、今後の会計基準などの動向によっては遡及的に修正される可能性があります。また、数字は月次決算数字であり、年度決算の過程で修正される可能性があります。 2025年11月期月次累計実績（2025年11月30日時点） 貸借対照表の概要　単位：千円 【資産の部】 流動資産　831,681 固定資産　300,670 繰延資産　642 資産合計　1,132,994 【負債の部】 流動負債　300,996 固定負債　141,904 負債合計　442,901 【純資産の部】 資本金（資本準備金含む）　99,999 資本剰余金　1,841,104 利益剰余金　△1,311,011 株主資本合計　630,093 新株予約権　60,000 純資産合計　690,093 負債純資産合計　1,132,994 損益計算書の概要 売上高　1,500,011 売上原価　1,073,395 営業利益　△ 63,118 経常利益　△486,609 当期純利益　△618,350

	ト）発行者の社員数、組織及び機関	正社員数：30名（2026年2月1日時点） 組織及び機関：取締役会設置会社及び監査役設置会社。組織は事業戦略部、内部監査グループ、プロダクトグループ、コミュニティグループ、ビジネスマネジメントグループ、マーケグループ、CS・Oprグループ、情報システムグループ、FNCT推進室、社長室の10の部署で構成されています。
	チ）発行者の株式の状況	2026年1月末時点の株式の状況は以下のとおりです。 発行可能株式総数： 1,000万株 発行済株式総数 ： 215万1,309株 各種の株式の数 普通株式 ： 23万5,000株 A種株式 ： 76万5,000株 B種優先株式： 33万3,000株 C種優先株式： 41万1,086株 D種優先株式： 18万7,733株 E種優先株式： 21万9,490株
	リ）発行者のコーポレート・ガバナンスの状況	社外取締役、監査役及び監査法人が選任されています。2022年8月に取締役会設置会社に移行し、定期的に取締役会が開催されている他、監査計画書に基づき監査役が取締役の職務執行、社内の内部統制の整備状況等を対象とした監査を実施しています。
(2) 新規暗号資産の発行及び販売等の状況（追加発行等の状況を含む）		

新規暗号資産の名称	フィナンシェトークン(FNCT)
新規暗号資産の総発行量	20,000,000,000FNCT
新規暗号資産の販売総量	2,600,000,000FNCT
新規暗号資産の販売価格	0.41円/FNCT
新規暗号資産の販売総額	1,066,000,000円

(3) 発行者及びその関連当事者が保有する新規暗号資産の総量及びその内訳

2026年1月31日時点の当社及び関連会社の保有数量は12,247,935,412FNCTです。「FiNANCiE」サービス上での決済使用により増加した210,525,626FNCTを含んでおります。また、当社役員等による保有数量は1,770,000,000FNCTです。なお、現時点で当社及び関連会社による売却等は行っておりません。当社役員等保有分については売却制限が適用されています（ステーキング報酬等は除きます）。

(4) 新規暗号資産の市場価格の推移

FNCTの市場価格の推移は以下のとおりです。
2026年2月9日現在：



https://coincheck.com/ja/exchange/charts/coincheck/fnct_jpy/3600

(5) 対象事業の進捗の状況

当社は、2023年2月21日から2023年3月7日を販売期間としてIEO（Initial Exchange Offering）における新規発行トークンの販売を行いました。
2026年1月31日時点で、以下のとおり主なコンテンツ及びサービスに関して発表しております。

- 福岡発。今最もフレッシュなクラフト酒ブランド「天郷醸造所」がトークンコミュニティを立ち上げ。“最初の一滴”となる限定商品をFiNANCiEにて本日よりオンライン先行販売開始(11/5)
- 体験が価値になる。話題の住所非公開・完全会員制フラワーバー『EBISU FLOWER PARK』が、FiNANCiEを活用した会員システムの運用をスタート。本日より1週間限定で先行販売を実施(11/21)
- ネパールで奮闘する日本人女性の活動を支援｜映画監督とWeb3コミュニティがタッグを組む社会課題応援プロジェクト《STORY ENGINE》がFiNANCiEで始動(12/3)
- FiNANCiE、HISと業務提携｜地方自治体との連携によるコミュニティ形成と関係人口創出を推進(12/9)
- 経営エンターテイメント番組「REAL VALUE」に新展開、FiNANCiEが番組公認プロジェクト第1弾としてスナックテクノロジーズのトークンコミュニティ立ち上げを支援(12/18)
- 誰もが安全に暗号資産を学び、使える世界を作る「Crypto College」が、FiNANCiEにて関東・関西・東海・東北・北陸の全国五地域でコミュニティを一挙公開！(12/19)
- 旅先を「ただいま」に。HISとFiNANCiEが「第2のふるさとプロジェクト」を始動。長野県木曽町・開田高原を起点とするコミュニティ「木曽馬みらいラボ」がFiNANCiEにて公開(1/20)
- モバイルサービス利用でトークンがもらえる「RTPモバイル（RED°　TOKYO PREMIUMモバイル）」が1月27日（火）正午12時より申し込み開始！(1/27)

(6) 資金調達の全部又は一部を使用した場合には、使用した資金の額等及び使途の内容

IEOにより調達した資金の用途は以下のとおりです。「FNCT White Paper」記載の「調達資金の使途」をもとに算出した計画値総額に対して2026年1月31日までの支出額（税込）を記載しております。

資金用途	計画値総額（千円）	支出額（千円）	使途の内容
開発	319,800	319,800	FNCTの発展に関連するあらゆる開発を促進するために使用されました。
マーケティング	319,800	319,800	FNCTエコシステムの拡大、および活性化に寄与するあらゆる活動に使用されました。
オペレーション	106,600	106,600	FNCTエコシステム、コミュニティ等、あらゆる運営に関わる活動に使用されました。
コントラクター	159,900	159,900	FNCTの安定した運用において必要となる、暗号資産交換業者や専門家等、外部業者への支払いに使用されました。
予備	159,900	159,900	予備費として使用されました。上記の資金使途、および、それに準じる諸経費、または、IEOの調達によって発生する法人税に充当されました。
合計	1,066,000	1,066,000	